

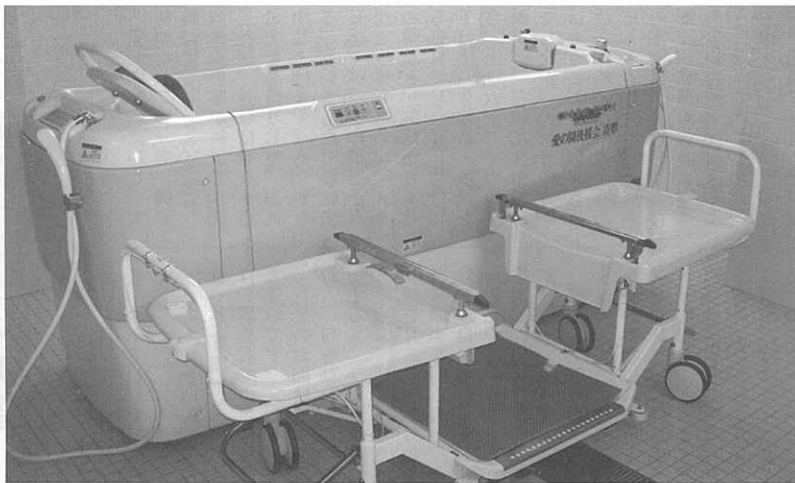


編集発行 愛の園後援会 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬 TEL 0739-47-1234 4649-2103 振替 00920-24155

ご挨拶

会長 松本 一郎

残暑の折柄、愛の園後援会会員の皆様には愈々御祥安の御事と慶賀に存じます。平素は「愛の園」並びに本会（愛の園後援会）に対し、絶大なる御支援・御協力を賜り誠に有り難うございます。さて、本会会長を長きに渡り歴任され、愛の園の発展に尽くされました後満様が、去る平成十九年六月十五日開催の愛の園後援会役員会をもって御退任される事になりました。はからずも不肖私事、会長に選任されることになりました。私のような者が、各位からかような御信任を戴きましたことは光栄の上もなく誠に感激に堪えません。つきましては、真に非才にしてその任ではありませんが、後満様の御指導、御助言を戴くと共に、会員各位の御支支と御協力により御力を尽くさせていただきます。何分ともよろしくお願ひ申し上げます。なお、「平成十八年度事業及び会計報告」についても審議され共に承認されましたことをご報告申し上げます。



後援会より寄贈の特殊入浴槽一式

昭和四十七年九月三十日、待望の「特別養護老人ホーム 愛の園」が岩田に開設されてからというもの霊母様はじめ職員の皆様、関係者の皆様のご努力により、愛され発展を遂げて参りました。しかし、施設の老朽化に伴い移転を余儀なくされ、濱野タキ園長念願の環境を有する所でもある上富田町スポーツセンターのすぐ上の高台に移転しました。テラスや屋上からはスポーツの競技を観戦

することも可能で、果ては田辺湾が一望できる風光明媚な所です。新築ゆつたりとした空間の中で、職員の手厚く優しい献身的な介護に笑みを浮かべ真の愛に満たされている利用者にも、故人となられました深田伊都

全てに感謝

園長 濱野タキ

源平かづらが真っ白いがくの先に深紅の花をつけた。聖母子観音の前に座り瞑想する朝のひととき、雨の音を聴きながら、生かされている幸せをしみじみ思う。

木下会長をはじめ愛の園後援会後援会長を戴き御支支を仰いだ、六月の例会で松本一郎会長へと引き継がれた。神愛会にとって力強い後楯になつて頂けることを期待し感謝している。

健康に対する傲慢さが叩かれ謙虚になれたらと思う。病む人の心も多少教えて頂いたような気がする。職員への優しさ、温かさ、思いやり。感謝できる機会もなつた。頂戴した生命を生きたことが出来たような気がする。

神さまの御計らいによつて上富田町に一粒種が落ちた。慈しみ育て下さつた神に感謝！ 継承し、力強い歩みを職員の一ひとりひとりに期待します。

上富田町に残された旧愛の園は生きています。遠い思い出を物語るかのようにそんな思い出大切に草を刈つて下さる方に感謝！

子霊母、水谷修三神父、山本萬米先生、富貴忠一様の御苦労が偲ばれます。今後、益々施設利用者に寄り添い、「心の温泉」の湧き出す源となるよう御賛同、御協力を願ひ申し上げます。



富里の獅子舞



京ちゃんバンド

愛の園の精神

新役員 上羽 寛

私は、今までPTA活動、青少年育成活動等を通じて、子供達と老人のふれあいボランティア活動に多く関わってまいりました。愛の園を訪れました。愛の園の精神」ではな

「愛の園の精神」ではな... 園長の夢でもある「老人と子供が一緒に過ごせる居場所づくり」にお手伝いができたらいいなあと思います。微力ではありますが精一杯がんばっていきたく思いますので、皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

短歌教室より

・車椅子で足組み待つ訓練室 画になるポーズとほくそ笑むなり
・祭くるハ反幟はたはたと おもしに付けしお猿が踊る



新谷 園子

・テノールの「千の風になって」に 酔ひしれる癒しの歌詞に涙しにじむ
・寝付かれぬままに短歌に 夢を追う言葉の森をさまよう今宵

澤 好子

新施設にて思う事

介護統括主任 大江 和子

愛の園移転に際し、大勢のボランティア、御家族、OBの方々のお陰で、無事大事業が終了できました事、遅ればせながら紙上をお借りして、お礼申し上げます。移転当日迄、ベッドの清掃から個人の持ち物整理、日々の業務と、気ばかりあせる毎日でした。移転後は、下は十八才の新人職員から、上は六十二才の現役職員迄、右往左往の毎日でしたが、入居者の方々はもうここで、何年も生活されてきたかのような落ち着き振りで、入居者の方々に、後押しされた形で、私達も徐々に、落ち着いてきたケアが出来るようになってきました。

ボランティアの皆様が、縫って下さった暖簾が各個室入口に架かっているのですが、一人一人にマッチしたその人らしい色柄で、まるでオー

「笑い皺」
 デイサービスセンター
 センター長 赤木 雅哉

平成13年7月よりデイサービスを開始し、今年の7月から早や7年目となります。皆さんが「安心してくつろいで頂ける場所」を提供し、「生活のパートナー」と成るべき活動を続けて参りました。立ち上げ当初から



お一人で生活されていた方も現在は息子さん達と同居される様になり、背中をシヤンと伸ばして飛び回っていた方が、今は杖を頼りに牛歩の歩みです。何気ない会話の最中にふとお顔に深く刻まれた皺を覗くと「老いの月日」の重さがひしひしと伝わってきます。

これから入居者の為、皆様のお力をお借りしたく、お願い申し上げます。

平成13年7月よりデイサービスを開始し、今年の7月から早や7年目となります。皆さんが「安心してくつろいで頂ける場所」を提供し、「生活のパートナー」と成るべき活動を続けて参りました。立ち上げ当初から

生きがい

ショートステイご利用 圓光 絹

私の住んでいる家は段差が多く時々つまずいてこけることが多いのですが愛の園のショートステイで泊まりに来ると、ここは段差が無く安心して歩けます。自宅では日中一人で居ることが多く食事自分です。作らなくてもいいので以前は平家です。自由にあつちこち歩き回りましたが今度はエレベーターを利用しなくてはいけません。不慣れなものでそのうち慣れると思うのですが。私の現在の日課は朝夕のウォーキングです。朝夕は涼しいうちに1時間程自宅近くを歩きます。夕方はその半分位歩きます。

その後自宅に戻り洗たく、食事の用意、買物と平凡であります。規則正しい生活を努めております。ショートステイを利用させていただいた際は自宅の生活を継続し続けていけるのがうれしいです。朝の愛の園でのウォーキングは最高です。ウォーキングは一生懸命歩かないと足がもつれてきます。ちよつとでも長く歩くことができ、寝たきりにならないように自分でトイレにもいける食事もでき、しっかりと生活がいつまでも続けられるようにとウォーキングに励んでいます。そしてウォーキングの途中で出会う職員さんたちとのちよつとした会話を楽しむのも生きがいのひとつです。

平成19年7月の初め、愛の園に入居しました。それまでは、田辺市内の病院に入院しておりました。一時、施設の方に入居していた時期はありましたが、再入院となり、入院生活が続いておりました。6月に愛の園さんから入居決定の知らせが来たとき、これからは歩んでいきたいと思えます。

平成19年7月の初め、愛の園に入居しました。それまでは、田辺市内の病院に入院しておりました。一時、施設の方に入居していた時期はありましたが、再入院となり、入院生活が続いておりました。6月に愛の園さんから入居決定の知らせが来たとき、これからは歩んでいきたいと思えます。

愛の園に入居して

大西 邦雄

平成19年7月の初め、愛の園に入居しました。それまでは、田辺市内の病院に入院しておりました。一時、施設の方に入居していた時期はありましたが、再入院となり、入院生活が続いておりました。6月に愛の園さんから入居決定の知らせが来たとき、これからは歩んでいきたいと思えます。

平成19年7月の初め、愛の園に入居しました。それまでは、田辺市内の病院に入院しておりました。一時、施設の方に入居していた時期はありましたが、再入院となり、入院生活が続いておりました。6月に愛の園さんから入居決定の知らせが来たとき、これからは歩んでいきたいと思えます。

平成19年7月の初め、愛の園に入居しました。それまでは、田辺市内の病院に入院しておりました。一時、施設の方に入居していた時期はありましたが、再入院となり、入院生活が続いておりました。6月に愛の園さんから入居決定の知らせが来たとき、これからは歩んでいきたいと思えます。

入所者状況 (2007年3月31日現在)

	田辺市	西牟婁郡 (25名 31.3%)			その他 (0名 0.0%)	計
		上富田町	白浜町	すさみ町		
男性	17	1	0	1	0	19
女性	36	19	4	1	0	60
計	53	20	4	2	0	79
構成比(%)	67.1	25.3	5.1	2.5	0.0	100.0
2006年度末	68.8	25.0	3.8	2.5	0.0	100.0

会員納入状況

地区	前年度納入会員	当年度納入会員
田辺市	110	84
上富田町	81	69
白浜町	9	7
県内	8	6
県外	19	18
合計	227	184

収支計算書

愛の園後援会 2006/4/1 - 2007/3/31

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	4,386,500	後援費	3,000,000
会費	861,655	印刷費	30,000
雑収入	1,848	通信費	32,455
(収入小計)	863,503	送料	13,080
		雑費	420
		(小計)	3,075,955
		繰越	2,174,048
計	5,250,003	計	5,250,003

役員

- 会長 松本 一郎
- 副会長 宮本 照男
- 会計 中井 美智子
- 監査 上羽 寛
- 顧問 木下 義夫
- 幹事 田辺 市
- 事務局長 廣瀬 宗一
- 事務局長 福山 守八
- 事務局長 赤木 留次郎
- 事務局長 上富田町 後山 節子
- 事務局長 遠山 節子
- 事務局長 田上 さよ子
- 事務局長 山際 幸子
- 事務局長 堀 美都子

編集後記

後援会の皆様から色々とお心配をいただきました。三月の末に入居者の方々の引越しも無事終った事、四月から新しい施設での生活をスタートして四ヶ月が過ぎました。

一面の写真でご紹介させて頂いておりましたが、改築の為に三年間積み立てをしていました後援費で三階に特殊入浴装置と専用のストレッチャーを寄贈致しました。設計当初特殊浴装置は二階に、一カ所の予定でしたが、特殊浴を御利用の方は各自の階で入浴する事が出来、大変喜んでいらっしゃいます。書面で御報告させて頂きます。

愛の園後援会事務局
 ☎0759-1471-234
 ☎0759-1471-234

現在会員数が減少している状態です。会員の皆様からも入会のお願い並びに会費の納入をよろしくお願ひ申し上げます。